

令和3年10月27日

発言者	発言要旨
松田委員	令和2年度の成婚数について報告があったが、どのように評価しているのか。
しあわせ子育て政策課長	コロナ禍であったため、外に出歩くという活動が少なくなり、出会う機会が減少したため婚姻数が減少傾向であったと考える。そのために、緊急的にやまがた結婚応援事業を実施したところである。
松田委員	ハッピーサポートセンター等に出向いて婚活を行うような方ではなく、出向くことが難しい方への対応はどうか。
しあわせ子育て政策課長	センターでは、結婚を希望する方にあわせて仲人ボランティアによる支援やマッチングシステム等により出会いの機会を提供している。システムを利用する場合でも本人確認を行うため、一度はセンターに来所する必要があるがポストコロナも見据えて今後は利用者が来所しなくてもお相手探しができるような仕組みづくりが必要と考えている。
松田委員	なぜ、特定不妊治療の助成回数の限度を6回としているのか。
子ども家庭支援課長	医学的に、不妊治療を6回以上継続しても妊娠に結び付きにくいことから、治療を受ける方の心身の負担も考慮して6回とされている。
松田委員	不妊治療によりどれくらいの子どもが生まれているのか。また、不育症とはどのような症状か。
子ども家庭支援課長	制度上追跡ができず、個人情報に関係もあり医療機関から厚生労働省への報告のみ行われている。一般的には、14人に1人が不妊治療で生まれていると言われている。 また、不育症とは妊娠はするものの流産や死産を2回以上繰り返す症状のことをいう。
松田委員	結婚・出産・子育て安心生活応援事業費の不用額の理由は何か。
子ども家庭支援課長	当該事業の不用額については、分娩前の妊婦等を対象として実施した新型コロナウイルスのPCR検査について、534件の実績があり、不用額は検査費用の残額である。
松田委員	令和4年に開催予定の「山の日」全国大会に向けた登山道路の整備の考え方はどうか。また、蔵王山だけでなく、朝日岳等の山についても維持管理経費が必要となることから支援すべきと考えるがどうか。
みどり自然課長	蔵王を中心に開催するため、いろは沼付近の木歩道を中心に整備している。また、やまがた百名山に関して案内板や整備活動に対する経費の一部を支援しており、決算額は140万円である。

発 言 者	発 言 要 旨
松田委員	朝日岳登山口にある古寺鉾泉の橋の維持管理についてはどうか。
みどり自然課長	橋については、20年以上前に地元関係者と山岳会の方々が設置したことを確認しているが、公園事業が決定されていない区間であることから管理者が不在であり、山岳会の方々が自主的に管理している状況である。なお、橋の補修に関しては県や町で補修してきた経緯がある。
松田委員	狩猟免許試験やわな猟の免許取得が難しいという話を聞いたが、合格率はどうか。また、県として免許取得者に対する支援を行うべきと考えるがどうか。
みどり自然課長	<p>平成25年度から28年度までの狩猟免許試験の合格率は概ね90%であり、29年度以降は概ね95%前後で推移している。また、近年はわな猟の免許取得者が急増しており、25年度は44名、令和2年度は265名であり、合格率は96%である。</p> <p>県の取組みとして、試験回数を以前の3回程度から、令和元年度は4回、2年度からは5回と増やすとともに、試験の合格率を高めるために事前の講習会を開催しており、高い合格率の維持に繋がっていると考えている。</p>